

## 第12回 フリートークの会

平成19年3月13日

出席者12名

Aさん 先生、足のしびれなんかは、個人差あると思うんですけど。

副院長 化学療法の後のしびれですね。今、服用しているのはB群を含むビタミン剤ですね。神経機能賦活効果のあるね。でも現在はこうしたらいいというものがないよね。

Aさん 漢方薬のほうがよかったよなんておっしゃる方もいらっしゃるんですけど、主治医の先生に聞いたら「いや〜、僕もやったけど別にそれはね〜」って。

副院長 うん、糖尿病のときなんかのしびれにも使われる牛車腎気丸ごしやじんきがんなんていうのもあって、これは一応出しますよね。漢方薬も試してみる価値あると思うけど、八味丸はちみがんとか牛車腎気丸とかいいと思うよ。ただ、それが自分に合うか合わないかが問題ですけどね。漢方薬っていうのはどれも同じじゃないんですよ。漢方薬とかサプリメントとか使うときはよっぽど選ばなきゃいけないですね。漢方薬が効かないなんてそんなことはないんです。八味丸とか牛車腎気丸は字を見ればわかると思いますが“丸”っていうものは丸薬の方がいいですよ。桂枝茯苓丸けいしぎくりようがんなんて聞いたことあるでしょ？有名な。これも丸薬ですが、手作りで本当にいい材料で作ったものが良く効くんです。だから漢方薬でよくなろうと思ったらよっぽど手間ひまをかけて良いものを選ばなければだめなんです。手間ひま惜しんじゃダメですよ、自分の身体に。誰かに治してもらおうと思うのではなく、自分で手間ひまかけて自分にいいものを見つけることが大切なんです。漢方薬っていうのはそういうものだから、やっぱりその人その人に合わせてね。牛車腎気丸と言いましたけど、これは一般的にそういうしびれとかに使う薬なんだけど、それが10人が10人みんなにぴったり合うかどうかはわからない。だけど漢方薬は効くかどうかって言ったら効きますよ。僕は高麗人参ずっと研究してきましたけど、自分は一番いいやつを飲んでます。保険は使えないけどそんなのは当たり前だと思っている。自分の身体だからね。ここでお出ししてるのは保険が使える比較的安いものですけどそれでも効きます。通常の状態だったら効くんですよ。ちょっと調子悪いなんていうときとか、不定愁訴なんていう時はこれでいいですよ。だけどホントに正直シビアな状況の時にそれを効かすっていったらかなりいいものを使わなきゃダメだと思います。でもね、漢方薬使ってみる価値はあると思いますよ。

Bさん 私は今手術したあと自己流で左腕のリハビリをやっているんですけど、この間主治医の先生に伺ったらリハビリセンターみたいところで専門の先生にリハビリしてもらった方がいいんじゃないかっていうことで、来月までにはその病院に行くように紹介状書いてくれるって言うんで、その紹介状を持って行ってみようかなって思っているんですけど。まあ、2〜3ヶ月待ちでも、設備が整っているっていう話なんで、少し浮腫も来ちゃってるんで、そういうところも診ていただいて。今こうやって指先が動くのも3・4年経ったら動かなくなる可能性が強いつて言われてるんで、とりあえずこれはずっと動くようにしたいなって思っているんでそういうリハビリも。自己流だとただ手首を動かすくらいしかできないので、どういうふうに行った方がいいか、専門の先生のお話も聞いてみたいと思うんで。再発や転移じゃないんですけど肉腫

っていうことで、がんでホントに怖い病気だなってつくづく思います。乳がんやっちゃうと再発とか転移ばかり頭にあったんですけど、原発で急に出ちゃう場合もあるんでね。そういうことで今回いろいろ勉強になって、今一生懸命治療している段階。私も今しびれの薬飲んでるんですけど。でも私の場合ビタミン剤じゃないんですよ、てんかんの薬だっていうんですよ。本来はてんかんの薬なんだけどしびれにも効くっていうことでそれを飲んでるんです。

Cさん 私もこの会に参加して結構長いんですけど、私も2年前に乳がんになって全摘出して抗がん剤をやったんですけど、やっぱり今もちょっとしびれが来てるんですよ。でもあまり気にしないようにして、長い付き合いだなあってこれからも思っているから、気にするとよけい気になっちゃうんですよ。でもまあ薬飲むほどでもないかなあって。で、あとは患者会とかこういうフリートークの会に参加させていただいて、先輩のいろいろな方がいらっしゃるのでね、すごく私も勉強になって、だから今はいろんな話を聞きたいなって。よろしくお願ひ致します。

Dさん 私も去年5月末くらいに左胸を手術したんですけど、それで1つ質問なんですけど、なんか汗がねサーッと固まって出る感じなんですけど、やっぱりリンパのここを手術したからかなって。

副院長 どういう感じですか？

Dさん 右は普通に汗をかくと下着がぬれるっていう感じなんですけど、左は時々サーッと水の固まりみたいのが落ちるんですよ。これも汗なのかな？ 手術したから汗の出方が変わったのかな～と思って。乳がんだったから何か悪いものが出てるんじゃないかと思ったりもしたんですけど。きっと汗の出方が変わっただけだろうと思って。

副院長 1つ考えられるのはやっぱり神経なんかにも触ってると思うから、汗腺とかは自律神経に支配されてますからね。そういうのがあるかもしれませんね。そういう考え方でいいと思いますよ。乳がんだったから悪いものが出てるといのは違うと思います。ある程度は仕方ないですよ、それはそれとして受け入れて、手術したんですから。そういう考え方でいいんじゃないかな。

Eさん 私は手術したのは5年前なんですけど、ズーッと薬はアリミデックスなんです。5年間飲みなさいって言われて4月で終わるんですけど、先生があと2年間追加で飲んでおいた方がいいって、でもかなり痛いんですよ。手の節々が痛いもんですから、あと手がねじれてしまったりするんですよ。あと、脚に来るんですよ。なので私としてはアロマシンに変えてもらった方がいいかなと思っているんですけど。アロマシンの方が痛みが軽いつて書いてあったんですけど、アリミデックスより。前に、ズーッと同じお薬を使うより変えた方がいいっていうようなお話を聞いたんですよ。どうなんでしょうか、お薬を変えるっていうことについて。

院長 アリミデックスをアロマシンにね。う～ん、同じようなものですけどね。多少違うんだけど、アロマトーゼインヒビターは同じだから。フェマーラとアリミデックスとアロマシンの3つね。

Eさん フェマーラはどうなんでしょう。アリミデックスをフェマーラに変えるというのは？ アロマ

シンよりはいいでしょうかね、変えるとしたら。

院長 フェマラーは一番新しい薬だから変えてみる価値はあるかもしれませんよね。去年の4月に承認されたんですよね。アロマシンも同じようなものなんですけど微妙に違うんですよね。ですから副作用にお悩みでしたら変えてみる手はある。べつに変えたからって悪いことはありませんよ。アロマシンに変えて変わらなかったらフェマラーに変えてみてもいいし。値段はそんなに変わらないと思いますよ。アリミデックスが大体1日1回使って一錠639円かな。それからアロマシンが1日1回使って643円くらい。フェマラーは687円。新しい薬の方がやっぱり高いですね。効果的にも同じだと思いますよ。副作用が違うというのはあると思いますけどね。作用は同じなんですけど、構造式が違うから微妙に副作用は違ってくるでしょうね。

Eさん やってみたいとわかりませんね。やっぱり手が痛いとかあるんですね。でも「効いてるんだからいいんだよ。」って言われちゃう。前なんかの雑誌で読んだんですけど、患者さんの話で「アリミデックスにご用心」で載ってたんですよね。字を書いたりするときにごく痛かったんですけど、アリミデックスをアロマシンに変えたらすごくよくなったって書いてあったんですね。じゃアロマシンにまず変えてみて、だめだったらフェマラーに変えてってやってみます。

Fさん 平成3年の4月にB病院で右の手術をしまして、で、いろいろありましてずっと通ってたんですけど声が出なくなっちゃったんです、急に。抗生物質が強かったせいか。胃腸病院に行きましてレントゲンを撮りましたら、肺に水がたまっているっていうんです。その後、私十二指腸潰瘍を持ってるもんですから胃が痛くなってきました、胃カメラ入れましたら十二指腸から出血してるっていうんです。3ヶ所ホチキスみたいなので止めたんですけど、出血寸前でしたね、入院しないでよかったねって言われまして、そんなこんなで、私、虫歯は全然なくて自分の歯だったんですけど、歯槽膿漏なんですね。急に歯が悪くなりまして、本を読みましたら抗がん剤を飲んでいるときは歯の治療はしないようになって読んだことがあるんですね。でも歯が痛くてしょうがないから歯医者に行きまして奥歯2本抜いたんですね。痛くて痛くて、先生に聞きましたら化膿してるっていうんですね、奥歯の根っこが。で、主治医の先生に電話ですぐ聞いてくれたんですけど、「タキソールが悪いんだな」っておっしゃったんですけど、そんなに悪いんでしょうか？ 歯とタキソールの関係はどうなんですか？

院長 要するにタキソールっていうのは、毛が抜けるっていうのは毛根にある細胞っていうのは絶えず増殖が激しいところなんです。だからそこがダメージ受けるから毛が抜けるんですよ。あと、口の中は口腔粘膜、特に味を感じる場所、味蕾っていうんですけどそこはしょっちゅう細胞が変わっているんですよ。だから味が変わっちゃう。だからそれにつられてる可能性はあります。だから全然ないとは言えないですよ。

Fさん こんど膿を出す手術をするんですけど大丈夫でしょうか？ もうちょっと先に延ばそうかって思っているんですけど。タキソールが悪いって先生に言われてるし。

院長 それと…HER-2 タンパクはどうだったんですか？ 検査してない？ 調べてない？ 調べて

もらった方がいいですね、本当はね。ハーセプテストっていうのがありますからハーセプテストはどうだったですかって聞いてみたほうがいいと思いますよ。ハーセプテストが強陽性だとハーセプチンという薬が使えますから、それは効きますよ。

Eさん HER-2が1だと効かないんですか？

院長 この秋からハーセプテストが強陽性の方は予防的に使えるようになります。ハーセプテストが強陽性の方はER.PRマイナスなんですよね。だから今は欧米では昔はHER-2陽性の方は予後が悪いつて言われてたんですけど、ハーセプチンという分子標的薬が出てきてそれを予防的に投与することによってハーセプテスト陽性の方が長生きするつて言われてるんです。それで、日本もやっとう重い腰を上げて秋から承認されるようになったんです。今までは再発した人でないと使えなかったんです。ところが欧米で大規模な試験をやったんです。ただ単にタキソールやった人とそれからハーセプチンとタキソールをやった人と1万人くらいの人比べたんです。そうしたら明らかにハーセプチン入れたほうが予後がいいんです。30~40%くらい違うんで、それでみんなびっくりしちゃったんですよ。そのデータがあつて日本でも予防的に使えるようにしてくれて、乳がんをやってる人たちが集まってそういうデータを出してるんです。それに欧米で出しているデータを加えて厚労省に提出したんです。そういう経緯があるんです。

Eさん じゃあ、主治医の先生にそのことを言ってお願ひすれば出していただけるのかしら？

院長 と思いますよ。秋すぎれば、秋に承認されるつて言つてましたから。秋過ぎて、承認されれば言えば使つてくれます。適応が合えばね。

Fさん 歯の治療は続けてやつた方がいいでしょうか？

副院長 それは、外科的な処置を加えないで持ちこたえさせる方法はないんですか？

Fさん 2ヶ所歯医者に行つて、2ヶ所とも同じ答えなんです。痛み止めは飲んでるんですけど効かないんです。だから悩んでるんです、どうしようかと思つて。

Gさん でも手術なんかしたら、抗がん剤飲んでるときは白血球が下がってるんだから、そんなときに手術したら死んじゃうよ。感染症になつたりして。

Bさん でも歯ぐきの膿をそのままにしておくのも怖いよ。膿の中の菌が脳に行つちゃう可能性もあるから、そうしたらそれだつて死んじゃうし、歯つて怖いよ。

副院長 それはやっぱり歯科の先生と話しなきゃいけないと思うんですけど、がん以外でも、不定愁訴などにも歯が絡んでくることがあるんですよ。で、大体はいつも東京医科歯科大を紹介するんですよ、遠いけど。あそこは今歯科でもとても充実してるんじゃないかな。で、僕自身もかかつたことがありますのでね。遠いんですけど、行くだけの価値はあると思うんですよ。特に保存

科っていう科があるんですけどね、今は名前が変わっているかも分かりませんが、そこはできるだけ歯を抜かないで持たせることを前提とするわけですよ。で、今、ベースにそういう合併症のある方の歯の病気に、意外と新しいことをいってくれるかもしれないですよ。どうですか、行ってみる価値はあると思いますよ、さっきの手間ひまの話じゃないですけど。紹介状は原則としてあった方がいいんですが、無くても 3000 円くらいで診てもらえますからね。

Hさん 私は 18 年前に左胸の手術を受けて、10 年くらい前に肺転移が疑われて、最終的な検査をしないで治療を始めたんですけど、その後お薬が変わったりしてずーっと継続的に検査はして CT も撮ったりしてたんですけど、さっきお話にあったアリミデックスに変わったら見事に副作用の症状が出ちゃって、手が痛くて関節とか、あと足の裏が痛くて歩けないくらい痛くて、主治医の先生にお話はしたんですけど、「もうちょっと頑張って飲みましょう」って感じで、それでちょっと病院も変わって、もう 10 年も経っているからお薬はもう止めようということになって、ただ肺に影があるから呼吸器内科のほうで肺の検査をとということで受けて、肺の影は大きくもならないが小さくもなっていないと、ずーっとそういう状態で細胞診もやったんですけど出なくて、何も無いようなんで影はあるんだけどもまた継続して治療ではなく経過を見ましょうということで、それが 3 年前なんですね。それまでずーっとお薬飲んだり肺転移が疑われてアリミデックスをずーっとやってたんです。それを 3 年前に一切やらなくなって、それでも肺のほうはずっと診ていただいていたんですね。それでもう一度細胞診をとわれたんですけど、細胞診はきついから全身の PET 検査にしてくださいって言って、PET 検査をしたら肺はなんでも無いんだけど肝臓に影があると。それで、去年で 18 年目なんですね。で、消化器の方も検査を中心にやって大腸のカメラとかを使って検査してたんですね。で、消化器のほうの腫瘍は全然無いと、どこを検査しても大腸も検査してもどこも異常は無いと。あらゆる検査して 8 ヶ月位検査していたんですけど、主治医の先生が「もしかして最初は乳がんだったんですよ」って気がつかれて乳腺科にまわされたんですけど、そこで腫瘍マーカー調べたら乳がんのマーカーがすごく上がっちゃって、もうこれは間違いなく乳がんの転移であると。それまでは私もまさかという気持ちが強かったですから、18 年ですから。それまではずっと頭にあったんですけど、7～8 年前からもう大丈夫と、もう健康と思って。検査もお休みして忙しく過ごしてましたので、まさか 18 年も経って出るとは思わないんで、先生方もまあ大丈夫だろうという感じで、8 ヶ月くらい放置しちゃったというか、最初は 3 ヶ所くらいだったらしいんです。でも、転移だっということとびっくりして C 病院へすぐ入れられて意外と早かったですよ。2 ヶ月待ちとかじゃなくて 10 日くらいで。

Bさん あそこね、この人大変ていうと早いよ。

Hさん 思いましたね。あんなにスピーディにあれよあれよという間に。時間外みたいな感じで、終わったの 7 時かなんかで、ホントに疲れましたね。でもスピーディでね、第 1 回目の外来で細胞診っていうんですか針刺してその場で採っちゃうんですよ。すごいと思って。それでもう型を調べるから入院して検査しますっていうことで 1 泊 2 日で入院して、その検査も処置室とかじゃなくてナースセンターでやっちゃうんですよ。びっくりしました。なにげにやっちゃう。もちろん先生がやるんですけど、でもホントに流れ作業じゃないですけどそんな感じでやっ

やうんですね。で、結果もハッキリして乳がんからの転移に間違いないと。でもホントにとんと拍子にすぐ化学療法の説明受けて、最初6コースって言われてたんですけど2・3コース受けてCT撮ったら少し小さくなってたんですね。年末そういうことで喜んでたんですね。それでこの間検査したら大きさも変わっていないけど増えてもいないと広がってもいけないので、まあお薬が効いているんでしょうと。で、アドリアマイシンやっているんでホントにみごとに髪の毛は抜けっちゃってるんですけど。増えても広がってもいけないからお薬が効いているんでしょうという判断の元にあと3コース増えて、でも、これからずーっとやるのかなあって、終わりがいいのかなあって。あと、がん研の〇先生の書いた「〇〇」という本があるんですけど、それ読んで、去年乳がん再発がわかってがん研にいった時にその本が並んでたんですけど買って読んだんですよ。余命のところにもうしっかり書いてあるんですね。転移したら2年から3年。で、もう転移したってわかってからすぐ買って読んじゃったから、す〜ごく落ち込んじゃったんですよ。で、あちこち片付け始めたり、もう頭の中そんなことで一杯だったんですけど、去年で18年になるんですけど3ヶ月くらい落ち込んでたんですけど、なんか考えてみたらそんな死んじゃった後のことはお任せして（笑）なんて考え方もあるよな〜とか思って、あと、生きている間にあんまり死ぬこと考えてどうしようどうしようって思っても、それももったいないかな〜ってせつかく生かされている命なんだから、絵門ゆう子さんの本とか読んだり、自分の仕事は生きてくことだと思って生きていいのかな〜って思って。一番最初に病気になったとき子どもが5歳と3歳だったんですね。で、ほんとに神様にお願いして子どもが成人するまで生かして下さいってお願いしたんです。そしたら成人して転移しちゃったんですよ。だからほんとに神様は願いどおりに…（笑）。でもなるべく前向きに、いろいろお話をさせていただいてお話を聞かせていただいて、今日来られてよかったなあって思って、これからもよろしくお願ひします。

Iさん 今日私は菊池先生の診察、2回目なんですけど、結構私はハードに治療してきたと思うんですが、もともとは子宮筋腫で、その前にホルモン治療をして小さくしてから手術したんです。取った後の細胞診でも悪いものではなかったんですが、半年くらいでまた急に出来ちゃって取ったら子宮肉腫という悪性のものだったんです。で、そのころはインターネットもよくわからなかったし、書店に行って見ても普通のがんだったら出てるけれど肉腫っていうのはほとんど書いてなくて、3行くらいでそれに罹ったらもうおしまいよって感じに書いてあって、もうそれだけでその場に崩れそうになったんですけど、実際は手術をしてみないと詳しいことは分からないということでしたけどやっぱり肉腫だったということで、あとは化学療法をやって、それから肺に影があるけどこれは転移かどうかわからないってということで、様子を見たいって言ってたら広がってしまって、それは手術で取ったんですけど、また化学療法をやって、またしばらくしたら同じところに出てしまって、薬を飲むように言われて飲んでたんですけど、手術するかどうするか決めかねているときにアメリカ人の友人からアメリカの病院で論文で紹介されて、新しく使われ始めたゼムザールとタキソテールのコンビネーションを教えてもらって、日本に戻ってきて手術してその後その薬をやったんですけど、その後は2年くらい何事もなく仕事も出来てきてたんですけど、一昨年の夏に胸骨のところに影があるって言われて、結局それも取らなきゃいけないって化学療法やってたんですけど、あまり小さくならなくて、治療って先が見えないじゃないですか、それと私は副作用が強く出るタイプらしくて、吐き気が

ひどいんですね。それでそれを続けていくっていうことが地獄だなと思って。その時重粒子線っていうのを知って、重粒子線は効くって言われたんでかけてもらったんです。そしたらそれはほんとに今までの治療と比べたらすごく楽な治療で副作用もなくて、肺の影があったところはポカッと穴が開いたようになってるんですけど、そして半年位したら肺のところと骨盤内のリンパに影があるっていう話しになって、今までの先生は手術で取りましようって言ったんですけど、肺の手術はもう2回くらいやっているし、あとがとても痛いので手術はもう嫌だと思ってやめて、ラジオ波で肺の腫瘍を焼くっていうのを以前雑誌で読んだので、その病院に紹介状を書いてもらって、重粒子線の病院にも書いてもらって、先に重粒子線の病院に行ったんですけど、肺の上にあるということは下にもあるかもしれないって言われて下の画像も持ってきなさいって言われたんですね。それで重粒子線で治療するけれども肺の下の方は手術しないって言われて、そうこうしているうちに肺と肝臓の間にも影があるって言われて、それは手術はできませんって言われてそこは放射線やって、結局リンパのところは手術って言われたんですけど、手術っていうものにすごく恐怖心があって、というのも同じような病気でずっと10年以上手術で乗り切っていた方が結局手術の後の回復が思わしくなくて敗血症になってしまってあっという間に亡くなってしまったのを見て怖くなってしまったんですね。で、腫瘍に針を刺して放射線を当てる治療をしたんですね。で、PETを撮ってまだ集積が残っている状態なんですけど、針を刺したのでその炎症の可能性はあるかもしれないということでしばらく経過を見ていきたいと思いますということなんですけど。まだ見えるところが2ヶ所あるということで、これ以上再発しないようにとか広がらないようにするにはどうしたらいいか菊池先生にご相談に来たんですけど。でまあ、前向きにというか自分でもそういうふうに関心しているんですが…。でも、やれることはやるし家族も助けてくれますし、ネットとかで知り合った同じ病気の方たちとも情報交換してますし、あと肉腫に対する遺伝子治療というのを研究している先生がいらして、1年半後くらいに臨床にこぎつけられるというお話なんで。結局肉腫という病気は少ないので研究費がなかなかないらしいんですね。患者さん同士が集まって署名して厚生労働省から資金を出してもらえるような活動をしてきて出してもらえるようになったらいいんですよ。それと、アスベストで問題になっている中皮腫にも同じ治療が適用できそうだっていうことでクボタからも多額の寄付金が入りて、臨床に向けて話が進んで、いつって言えなかったのが2年後くらいになって1年半に。その活動をしている方とも知り合いになれたし、その遺伝子を研究している先生のお話も聞いて結構味方もできたし、この前の主治医は分子標的薬の話をして「よくわからないんで」って菊池先生を紹介されて、それで菊池先生にもお会いできたし、いろいろどうにか命をつないでいけば新しい治療法も出てくるかもしれないし、できるだけ副作用の少ない形で継続できる治療をやっていけたらいいなと思っています。皆さんとも、今まで患者会って出たことなく、そういうのに出て一緒にお話するのがよかったのかもしれないんですけど、そういうお話をするのが自分にはすごくストレスだっていう気持ちがあって、治療をやってもストレスなんで、やってないときは忘れていたいというのがあっていままで参加してなかったんですけど、やっぱりネットで知り合った人と話していると知らない治療法のこととかあるので今日菊池先生にフリートークの会があるよって誘っていただいたんで出てみました。よろしくお願ひします。

院長 Iさんはよく勉強してるんですね。でもね、大丈夫だからね。(笑) さっき中皮腫って言い

ましたよね。中皮腫は確かに問題なんだよね。で、非常に腹膜がんなんかも増えているんですよ。肺にできるだけじゃなくて腹膜がんももしかするとそういう可能性があるんですよ。で、それに対して効くアリムタっていう薬があるんですよ。そういうのは企業がお金を出すからすぐできてくるんですが、ところが肉腫みたいなのは珍しいからなかなか保険適用にならないんだよね。そこが非常に問題なのね。とにかく負けちゃダメよ。あきらめたら終わりだからね。

I さん ほんとにそう思いました。同じ病気の方でも、家でじっとしている人と、私のようにいろんな病院に行ってやっている人では、悪性度も違ったと思うんで一概に比較はできないけれど、やっぱり可能性を求めているいろいろ行ったことがよかったのかなあって。あきらめてません！（笑）

院長 いや、そうですよ。僕はね、こういうフリートークの会っていいと思うんですよ。同じ病気持ってないとなかなか話づらいところはありますよね。で、あきらめたら人生終わりだから。人間いずれ死ぬんですけどね、だけどそれは神のみぞ知るで、1日1日生かされているんですから。だから無駄にしないことですよ。あきらめるってことは無駄にするってことだからね。僕はがんでいうのは慢性病だと思っているし、がんを持って長寿を生きてがんと共に亡くなっていいんですよ。それが長寿全うだと僕は思うんですよ。大体60歳過ぎたら4・5割りの人ががんで死ぬんですよ。残りの3割くらいが心臓・血管系の病気ですよ。ですから半分近くの方ががんで亡くなるんですね。で、その時にがんと共に天寿を全うできればいいんでね、そう考えていくって大事だと思うんですね。勉強も大事ですけどね、明るく前向きに生きる。

J さん 私は今日ここへ初めて来ましたが、1月に患者会の新年会で菊池先生ともお話できて、やっぱり皆さんのお話聞いて元気が出てきたので今日も。私家がちょっと遠いんですけど、やっぱりこっちの方に引きずられる感じがして皆さんにお会いして、皆さん一生懸命がんばっていらっしゃるっていうのを感じましたし、今先生もおっしゃったようにあきらめないで1日1日を生かされて大事に生きて行きたいなって思います。私は手術してまだ初心者で1年6ヶ月くらいなんですけど、今ノルバティックスを飲んで、2年半ノルバティックスを飲んでそのあと何かに変えるって言われたんですけどそこまでよく聞いてないんですけど、ホルモン受容体で今はそれを飲んでます。それでこの前1年経ったときに検査しましたら一応パスしましたのでちょっとホッとほしてはるんですけど、皆さんもそうだったと思うんですけど、検査しながらハラハラしながら何年か経ってきていらっしゃるんだなあって思って。それから逃げたい気持ちもあるんですけど逃げたらダメだなあというのを感じましたし、これからもこういう会には出てきて皆さんの貴重なお話をいろいろ聞いて、これからも長生きしていきたいとします。よろしくお願ひします。で、先生、質問なんですけど、いいほうのおっぱいが痛くなるときがあったんですけど、現在は痛くないんですけど、手術した後に反対側が痛くなったので錯覚を起こしているのかなあって思ったんですけどずっと痛かったんですよ。ノルバティックスを飲むようになってから痛くなくなったんですけど、なんだったのかなあって思って。

院長 それは～ちょっとよくわからないですね。わからないけど片方だけっていうこともないですからね。よく両方ともっていう人もいますからね。1年に1回とかっていうんじゃなく、半年に1回とかぐらいに検査したほうが…うん、そのほうが安心ですよ。